

令和2年3月市長定例記者会見 記録

令和2年3月25日(水)

午前10時～午前10時35分

発表案件

1 新型コロナウイルスによる市内での影響について

2月29日に県内で初めて感染者が確認されましたことを受け、同日佐渡市新型コロナウイルス対策本部を立ち上げました。現在も感染拡大防止の対応策をとっておるところでございますが、佐渡市内での影響についてご報告させていただきます。まず観光への影響でございます。宿泊施設及び観光施設の市内事業者への影響は、宿泊施設での1、2月の宿泊者数を観光旅館組合等加盟施設20軒で見ますと対前年同期の10.7%の減でございました。3月については集計中でございますが、宿泊実績はもちろん送別会や懇親会等の中止により、売り上げベースで30%から60%減との回答が多い状況でございます。観光施設での1、2月の入館者数を公共施設の立ち寄りを除く7軒で見ますと対前年同期の23.6%の減、3月については、これも集計中でございますが、立ち寄り施設の3月の見込み、業態によって団体観光が多い施設は約80%の減、個人対応が中心の施設で20%程度の減になる見込みでございます。また、4月以降の予約については、宿泊施設においては企画募集型の旅行商品が実施されていない現状がありますので、大体60%から80%の減、立ち寄り施設については40%から50%減の見込みとなっております。

この観光客の減少に伴いまして公共交通機関への影響も出てきております。3月22日時点で各交通機関からの情報によりますと、佐渡汽船では前年度と比較して旅客輸送人員でおよそ40%減、自動車航送でおよそ16%減となっております。島内の路線バスでは観光客や高齢者の利用が減少し、現金、回数券、フリー乗車券の収入がおよそ30%程度減少しております。特に病院乗入便を利用する高齢者が少なくなっているようでございます。貸切バスにつきましても3月は現時点まで運行は2件であり、前年比でおよそ80%の減となっております。また、島外に出るバスツアーの中止のほか、受入ツアーもほとんどが中止になっている状況でございます。島内の中学校の修学旅行の3月、4月分につきましては延期に、4月、5月のクルーズ船4本もすべて中止が決定しております。タクシー事業者も3月は収入が前年比約30%の減、4月から6月までの予約は90%減の状況で、特に5月の山登りシーズンの予約が現時点ではほぼゼロとなっております。なお、3月11日から実施している佐渡汽船でのサーモグラフィ検査は現在のところ該当者は出ておりません。

次に商工業等への影響についてでございます。各地区の商工会との意見交換、業種別企業や金融機関等への聞き取りをしましたところ、観光や宴会等の自粛に伴う宿泊施設、観光施設、飲食店、小売店への影響が特に顕著であり、この業種へ納入しております卸売業にも影響が及んでいる状況となっております。現在佐渡市では、資金繰り等に支障を生じている中小企業者等が新潟県の特別融資制度を活用した際に発生する信用保証料に対して支援を行っているほか、新たな支援策も現在検討しているところでございます。また、国の支援策についても市のホームページに掲載し周知を

図っているところでございます。

次に学校関係について説明させていただきます。市内の小中学校は3月4日から臨時休校としましたが、保護者の勤務の都合上やむを得ない事情がある家庭に対しましては、小学校1年生から3年生を対象に臨時学校預かりを昨日の3月24日まで実施させていただきました。申込数がおおよそ300人あり、毎日おおよそ200人の児童が利用しておりました。3月25日からは春休み期間となるため、臨時学校預かりは終了いたしました。春休み期間であっても3月31日までの間は、人ごみなど濃厚接触の可能性が高い場所への外出を自粛するよう児童生徒及び各家庭に呼び掛けているところでございます。したがって、この期間につきましては、中学校の部活動も中止とさせていただいております。なお、3月25日を、本日でございますが、市内小中学校の登校日とさせていただきました。各校では、終業式、離任式、春休みの過ごし方指導などを工夫しながら実施していると思っております。

次に放課後児童クラブについてでございます。3月4日から24日まで、登録のある小学校1年生から3年生を対象に小学校内での臨時学校預かり終了後の午後3時から午後7時まで、通常の学童保育を行ってまいりました。土曜日登録のある1年生から3年生のみの実施とさせていただきました。利用状況は平日の登録数379人に対し100人程度で、おおよそ26%の利用でございました。土曜日は登録数102人に対し15人で、これはおおよそ15%の利用でございました。今日から小学校は春休みでございますが、本日25日は登校日ですので学童保育については学校終了後に実施させていただきます。明日26日以降の春休み期間中は午前7時30分から午後7時まで実施いたしますが、感染症リスクを可能な限り低減するため、利用の自粛については要請を続けております。

保育園、幼稚園、認定こども園につきましては、通常どおりの保育を行っておりますが、3月4日から31日まで感染症リスクを可能な限り低減するため、保護者に登園自粛をお願いしております。登園状況は在園児数1,715人に対し、平日は1,200人前後でおよそ70%の登園の状況となっております。また、4月1日と2日は臨時休園し、3日の入園式は規模を縮小して実施する予定でございます。

次に、学校給食停止による生乳の影響でございます。量としましては10トンほどの影響が出ておりますが、そのうち8割は新潟市内の北陸酪連に移出し、2割は島内で加工品等に使用されております。価格差は北陸酪連が負担するため、酪農家の収入減とはなっておりませんが、佐渡乳業へは学校給食用販売利益減少の影響が出ております。そのため、普段より多く商品を提供しておりますので、市民の皆様におかれましても地元産の牛乳、乳製品の積極的な購入に協力していただきたいと思っております。

次に図書館、図書室についてでございます。開館にあたりましては、利用者制限、これは貸出、返却のみの制限とか一部休館日の変更をさせていただいた上で3月16日から再度開館させていただいております。3月16日から3月19日の期間での利用状況でございますが、全館10施設合計で来館者数は1,557人でございます。個人の貸出冊数は5,677冊、本を借りてお帰りになった人の数は1,116人でございます。この利用状況を昨年同時期の中央図書館の中で比較いたしますと、来館者数では昨年の612人に対し今回は559人で9%の減となっております。ただ、貸出冊数におきましては、昨年の900冊に対し今回は1,724冊と1人平均にするといつもの2倍近く借りていただ

いたこととなります。また、貸出人数も昨年の 229 人に対しまして、今回は 313 人と普段より 4 割ほど多くの方が利用したこととなります。来館者はわずかに減りましたが、より多くの本を皆様が借りていただいたということとなります。また、今回貸出冊数を通常の 1 人 10 冊を 20 冊に、貸出期間を 2 週間から 3 週間に変更して運用させていただいております。

次に博物館、資料館等の利用状況でございます。再開しました 3 月 16 日から 3 月 24 日の期間、全館 10 施設の合計で来館者数が 255 人、昨年同期実績では 558 人となっております。休館中及び開館してから、団体のキャンセルがあった件数は、全館合計で 9 件でございます。

現在、佐渡島内では幸い感染者は確認されておられません。このまま市内で感染者が発生しない限りは、現在行っております自粛要請を 4 月から段階的に緩和することも検討し、地域活動等の正常化を目指したいと考えております。市民の皆様におかれましては、引き続き咳エチケット、こまめな手洗いなど感染予防を心がけていただきたいというふうに思います。

2 佐渡観光交流機構 マーケティング方針説明会の開催について

佐渡観光交流機構では、何を目的にどのような手段で観光による地域づくりを進めるかという説明会を開催いたします。佐渡観光交流機構は 2018 年 4 月に日本版 DMO として設立してから、これまで経営理念や経営方針を策定し、地域の利益のためのプラットフォームになるべく取り組んでおるところでございます。客観的に見た佐渡の現状から観光による地域の活性化策について、これまで何に取り組み、今後どう取り組んでいくのかを市民の皆様に関わりやすく解説する機会がこれまでなかったことから、設立して 3 年目の節目として説明会を開催いたします。

開催する日時は 4 月 17 日の金曜日 13 時 30 分から 16 時までとなっております。内容は二部構成になっておまして、1 部ではマーケティング方針の説明、2 部では 2 月に実施したヨーロッパ視察の報告会を行います。会場はあいぽーと佐渡多目的ホールで行います。この機会に多くの皆様からご参加いただき、観光による地域の活性化の取り組みについて知っていただければと思いますのでよろしく願いいたします。

事前質問

1 世界遺産の推薦書原案提出の見通し、市長の今年の期待感を教えてください

推薦書原案につきましては、これまで新潟県とともに文化庁から助言を受けながら国内外の専門家と検討を重ね、修正を進めてきており、現在、今月中の提出に向けて最終的な調整を行っているところでございます。佐渡金銀山につきましては、昨年 7 月の国の文化審議会においても、次の有力な推薦候補案件であることが確認されております。提出させていただく推薦書原案につきましても、石見銀山をはじめとする世界遺産登録された鉱山遺跡との違い、佐渡金銀山の価値を詳細に説明するなど文化審議会から示されました課題に確実に対応したものになっていると考えておりますので、これまで以上に推薦候補選定の可能性は高まっているものと認識しているところでございます。

2 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、観光など市内経済にどのような影響が出ているか、額面・入り込み数の変化などをお聞かせ下さい。それに対する佐渡市独自の支援策についてもお願いします。

最初の方のコロナ関連でも説明させていただきましたが、付け加えさせていただきますと市内での影響については、数値などは先ほどお伝えしたとおりでございますが、市内経済というふうに換算させていただきますと佐渡汽船輸送実績を踏まえた2月22日から3月22日までの期間で、観光客の減少による地域経済への影響額はおよそ3億8,000万円の減少と試算されます。また、懇親会、歓送迎会等の減少による影響額は島内の消費額において約1億円ぐらいたらうと試算されております。なお、今回の新型コロナウイルスに係る地域経済の佐渡独自の支援策につきましては、この3月中、年度内に支援策をなんとか打ち出したいと検討しておりましたが、残念ながら新年度、選挙後にしっかり対応策を打ち出すということになっております。

質疑応答

1 新型コロナウイルスによる市内での影響について

記者：

商工業への影響のところで、先ほど損失の額とかも出てましたけど、廃業ですとか倒産に追い込まれているようなところが出てくるかどうかというのは把握されておりますでしょうか。

市長：

まだこちらとしてはそういう状況が発生しているということまではいってないと考えております。ただ、非常にちょうど年度末でございますので、令和元年度から令和2年度への年度を越えた中で、事業者の分野によりましてはかなりしんどい状況、かなり切羽詰った状況にきはじめているというところは聞き取りによってわかっております。

記者：

公共交通機関への影響、3月22日時点ってということなんですけど、これ、期間幅とかじゃなくて、この40%減とかってというのは・・・。

市長：

3月1日から22日までです。

記者：

2ページの観光施設の3行目の個人対応が中心の施設ってのは具体的にどういった施設になるんですか。

観光振興課長：

事業者によりまして、団体観光を中心に営業されているところと個人客を中心に営業されているところがあります。今回の新型コロナウイルスの影響につきましては、団体観光についてはほぼ動いていないという状況ですので、個人対応しているところにつきましては影響は割と小さい、2、3割の減というようなところですが、団体観光を中心に行っているところにつきましては、ひどいとこ

ろだと8割減というようなところがございます。

記者：

具体的になんですか。喫茶店とかですか。

観光振興課長：

大型の民間の立ち寄り施設、観光施設を聞いておりますので、喫茶店とか飲食店というところはそこには入ってございません。

記者：

例えば、二、三挙げていただくと・・・。

観光振興課長：

個人対応しているところといいますと、例えば佐渡金山さんですとか、団体観光が多い所といいますと、ゴールドパークさん。そういうところが多いかと思えます。

2 佐渡観光交流機構 マーケティング方針説明会の開催について

なし

事前質問における追加の質疑

1 世界遺産の推薦書原案提出の見通し、市長の今年の期待感を教えてください

記者：

可能性が高まってきているという期待感を与えているんですけど、彦根城も原案出されると思うんですが、その辺の準備状況とかについて情報収集ですとか、情報交換されてたら、把握されてたら。

世界遺産推進課長：

彦根城につきましては、今月に推薦書案を提出するというような情報は入ってきてございます。ただ、それが正確なのかどうかということもまだ実際に提出をされてみないとわからない。3月末にならないとわからないという状況ではございます。

記者：

それ以上はじゃあ、特に情報収集とかはされてない。

世界遺産推進課長：

今のところの情報というのは、今お話ししたところぐらいでしかございません。

記者：

今月中に推薦書原案を提出というお話でしたけど、今月内もうあと数えるほどですけど具体的に何日頃を目途にっていうのございますか。

市長：

月末を目途にと考えて検討をやっていきます。

記者：

日というのはまだ・・・。

世界遺産推進課長：

今のところ、先ほど市長からもございましたけども、最終的な調整のほうを進めてございますので、提出のほうは3月末までにとということでございますので、それを目掛けて今のところ日程等も含めて調整のほうを進めさせていただいているという状況でございます。

記者：

関連して。それ、発表はどのような段取りになるのでしょうか。当日の話。

世界遺産推進課長：

提出のほうをしましたら、また速やかに皆さんのほうにお知らせしたいと思っております。

2 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、観光など市内経済にどのような影響が出ているか、額面・入り込み数の変化などをお聞かせ下さい。それに対する佐渡市独自の支援策についてもお願いします。

記者：

佐渡市独自の支援策なんですけど、なかなか提出できない状態らしいんですけども、かなり自転車操業的にやってる商工観光団体とかはかなり厳しい状態だと思うんですけども、大丈夫なんですか。4月入って。

記者：

本来であれば4月に入ったらすぐ諸々の支援策に対しての申請を受け付けられるような環境を作ったかったのですが、現状残念ながら選挙を踏まえないとなかなかその部分、当然補正予算とか絡んできますので、その辺のところについて月内に補正等の手続きまでちょっといけなかったものですから、いずれにしても本当申し訳ないのですが、選挙後極力早くということで対応するしかないかというふうに思います。報道陣の方ももうご存知だと思いますが、実際に議会や市に陳情が出ていたり、それ以外もいくつか直接なんとか支援という要請も複数きております。その辺で非常に厳しい状況が続いている事業者さんが発生しているということはもう重々わかっておるのですが、残念ながら月内で支援策を決めたいと考えていたのですが、それができない。正直言ってそこを選挙後まで待たざるを得なくなったというのが実情でございますので、市民の皆様には本当に申し訳ありませんが、もう少し待っていただきたいというしかない状況でございます。

記者：

国とか県の支援策ですね、特別融資とか。そういうのの市内の利用状況ってのは把握されてるんですか。

地域振興課長：

県のコロナ対策の制度融資がございまして、佐渡市は信用保証協会の保証料を100%補給するという制度に基づきまして支援をしているわけですけども、もう既に実行される、本日実行されるのが2件。それから今後3月中に予定されるのが7件ということで聞いております。

記者：

それはどういう評価になるんですかね。少ないのでしょうか、多いのでしょうか。

地域振興課長：

通常の保証協会の保証については大体月に3件ほどという実績がございますので、そこからすると数自体は多いというふうに認識しております。

市長：

補足すれば、4月以降もう少し増えるかなというふうには推測はしております。